



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月14日

上場会社名 株式会社ヤマキザイ 上場取引所 東
 コード番号 7677 URL <https://www.yashima-co.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 一昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 阿部 昌宏 (TEL) 03-4218-0096
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	11,586	△12.5	△119	—	△32	—	△57	—
2022年3月期第2四半期	13,237	—	△83	—	28	△90.1	△11	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 129百万円(11.8%) 2022年3月期第2四半期 115百万円(△33.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△20.07	—
2022年3月期第2四半期	△3.95	—

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を前連結会計年度の期首から適用しております。2022年3月期第2四半期実績は当該会計基準を適用した後の数値となっており、「売上高」の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	23,152	9,423	40.7
2022年3月期	24,256	9,341	38.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 9,423百万円 2022年3月期 9,341百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	31,581	11.6	294	△20.8	413	△24.7	265	△12.1
								92.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	2,880,000株	2022年3月期	2,880,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	20,942株	2022年3月期	32,810株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	2,849,820株	2022年3月期2Q	2,841,965株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2022年11月28日 (月) に決算説明会を開催する予定です。
その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載 (動画配信) する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限は緩和され人流や消費動向にも持ち直しが見受けられたものの、変異株の出現による感染再拡大や、円安の進行や原材料等の価格上昇等もあり、依然として先行きは不透明な状況にあります。

そのような状況のもと当社グループは、2022年度を2年目とする「中期経営計画」を掲げており、基本目標である(1)ポストコロナに向け、安定成長軌道への回帰、(2)事業環境の変化を見据え、新たな企業価値・存在価値の創出、(3)2024年3月期ROE 5%、これらの達成に向けて取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、鉄道事業の売上高が低調であったため、売上高は11,586百万円(前年同四半期比12.5%減)、営業損失は119百万円(前年同四半期は83百万円の損失)、経常損失は32百万円(前年同四半期は28百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は57百万円(前年同四半期は11百万円の損失)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(鉄道事業)

鉄道車両製品を主な商材として、鉄道事業者及び鉄道関連メーカー等を対象に、鉄道車両用電気用品、同車体用品等を主に取り扱っております。主要顧客である鉄道事業者の業績は増収増益を示しているものの、半導体供給不足などの要因により手配製品納期は長期化しており、また一部の受注案件では納入予定時期の延期等もあり、売上高は低調に推移しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,068百万円(前年同四半期比14.8%減)、営業損失は54百万円(前年同四半期は0百万円の損失)となりました。

(一般事業)

当社グループにおいては鉄道事業以外を一般事業としており、取引を行っている業界は、産業機器メーカーや電力用機器メーカー、自動車業界メーカー等と多岐にわたっており、主な商材はコネクタや電子部品であります。一部の販売先・業界では需要や生産は好調であり、また拡販活動の結果によって、売上高は増加となりました。

その結果、売上高は1,517百万円(前年同四半期比6.9%増)、営業損失は64百万円(前年同四半期は82百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は23,152百万円で、前連結会計年度末に比べ1,104百万円減少しております。主な要因は、営業未収入金(1,247百万円から3,257百万円へ2,009百万円増)、商品(2,530百万円から2,874百万円へ343百万円増)が増加した一方、受取手形及び売掛金(6,339百万円から3,957百万円へ2,382百万円減)、有価証券(2,500百万円から1,500百万円へ1,000百万円減)、現金及び預金(6,743百万円から6,654百万円へ89百万円減)が減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は13,728百万円で、前連結会計年度末に比べ1,186百万円減少しております。主な要因は、営業未払金(1,480百万円から3,423百万円へ1,942百万円増)、契約負債(656百万円から744百万円へ87百万円増)が増加した一方、支払手形及び買掛金(10,365百万円から7,393百万円へ2,972百万円減)、未払法人税等(90百万円から3百万円へ86百万円減)が減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は9,423百万円で、前連結会計年度末に比べ82百万円増加しております。主な要因は為替換算調整勘定(154百万円から345百万円へ191百万円増)が増加した一方、利益剰余金(8,031百万円から7,903百万円へ128百万円減)が減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、6,832百万円と前連結会計年度末に比べ589百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、1,148百万円の支出となりました。

(前年同四半期は3,887百万円の支出)

これは主に、売上債権の減少額2,413百万円、営業未払金の増加額1,942百万円がキャッシュ・フローのプラスとなった一方、仕入債務の減少額3,058百万円、営業未収入金の増加額2,009百万円、棚卸資産の増加額293百万円がキャッシュ・フローのマイナスとなったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、527百万円の収入となりました。(前年同四半期は48百万円の収入)

これは主に、有価証券の償還による収入500百万円がキャッシュ・フローのプラスとなったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、60百万円の支出となりました。(前年同期は70百万円の支出)

これは主に、自己株式の売却による収入10百万円がキャッシュ・フローのプラスとなった一方、配当金の支払額71百万円がキャッシュ・フローのマイナスとなったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました数値と変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,743,834	6,654,365
受取手形及び売掛金	6,339,910	3,957,554
営業未収入金	1,247,418	3,257,183
電子記録債権	1,650,644	1,681,327
有価証券	2,500,000	1,500,000
商品	2,530,637	2,874,338
その他	162,761	223,735
貸倒引当金	—	△7,154
流動資産合計	21,175,205	20,141,349
固定資産		
有形固定資産	54,520	52,297
無形固定資産	158,738	122,319
投資その他の資産		
投資有価証券	1,638,263	1,645,984
繰延税金資産	194,417	194,603
その他	1,038,470	998,856
貸倒引当金	△3,150	△3,150
投資その他の資産合計	2,868,001	2,836,295
固定資産合計	3,081,259	3,010,912
資産合計	24,256,465	23,152,262

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,365,377	7,393,210
営業未払金	1,480,797	3,423,337
電子記録債務	750,134	678,622
未払法人税等	90,006	3,858
契約負債	656,745	744,280
賞与引当金	247,507	232,966
その他	225,730	110,026
流動負債合計	13,816,298	12,586,302
固定負債		
繰延税金負債	172,027	188,526
退職給付に係る負債	721,415	746,610
役員退職慰労引当金	147,226	147,476
資産除去債務	39,986	40,131
その他	18,049	19,304
固定負債合計	1,098,704	1,142,050
負債合計	14,915,003	13,728,352
純資産の部		
株主資本		
資本金	99,900	99,900
資本剰余金	714,366	735,783
利益剰余金	8,031,599	7,903,223
自己株式	△6,901	△4,405
株主資本合計	8,838,964	8,734,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	347,635	343,428
為替換算調整勘定	154,863	345,978
その他の包括利益累計額合計	502,498	689,406
純資産合計	9,341,462	9,423,909
負債純資産合計	24,256,465	23,152,262

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	13,237,355	11,586,192
売上原価	11,688,838	9,963,907
売上総利益	1,548,517	1,622,284
販売費及び一般管理費	1,631,727	1,741,772
営業損失(△)	△83,210	△119,487
営業外収益		
受取利息	5,891	6,385
受取配当金	20,692	23,104
持分法による投資利益	1,144	1,315
賃貸料収入	29,472	30,286
受取出向料	36,573	30,850
補助金収入	5,890	4,837
その他	26,189	8,758
営業外収益合計	125,854	105,537
営業外費用		
支払利息	26	12
賃貸原価	7,158	7,987
為替差損	6,978	10,485
その他	—	499
営業外費用合計	14,164	18,985
経常利益又は経常損失(△)	28,479	△32,935
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	28,479	△32,935
法人税、住民税及び事業税	11,562	5,723
法人税等調整額	28,146	18,536
法人税等合計	39,708	24,260
四半期純損失(△)	△11,229	△57,195
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,229	△57,195

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△11,229	△57,195
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,186	△4,206
為替換算調整勘定	135,389	191,114
その他の包括利益合計	127,203	186,908
四半期包括利益	115,973	129,712
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	115,973	129,712

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	28,479	△32,935
減価償却費	44,346	47,385
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	7,154
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,927	△14,540
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△25,530	250
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3,873	25,195
受取利息及び受取配当金	△26,583	△29,489
支払利息	26	12
売上債権の増減額(△は増加)	264,366	2,413,328
営業未収入金の増減額(△は増加)	975,426	△2,009,764
棚卸資産の増減額(△は増加)	△371,926	△293,851
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,304,843	△3,058,069
営業未払金の増減額(△は減少)	△1,314,971	1,942,539
未払金の増減額(△は減少)	△17,723	△42,933
契約負債の増減額(△は減少)	26,292	87,505
未収入金の増減額(△は増加)	2,164	2,329
未払消費税等の増減額(△は減少)	12,496	△56,836
その他	△113,146	△69,945
小計	△3,822,073	△1,082,666
利息及び配当金の受取額	26,583	29,489
利息の支払額	△26	△12
法人税等の支払額	△92,324	△95,277
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,887,840	△1,148,466
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,609	△7,180
無形固定資産の取得による支出	△12,366	△4,520
投資有価証券の取得による支出	△14,564	△5,246
投資不動産の賃貸による支出	△2,212	△18,297
投資不動産の賃貸による収入	29,472	30,286
貸付金の回収による収入	300	—
有価証券の償還による収入	—	500,000
関係会社株式の取得による支出	—	△7,560
その他	49,331	39,929
投資活動によるキャッシュ・フロー	48,350	527,410
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△70,996	△71,179
自己株式の売却による収入	—	10,719
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,996	△60,459
現金及び現金同等物に係る換算差額	87,857	92,046
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,822,629	△589,469
現金及び現金同等物の期首残高	9,326,962	7,421,834
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,504,332	6,832,365

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

当第2四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	鉄道事業	一般事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,816,852	1,420,502	13,237,355	—	13,237,355
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,816,852	1,420,502	13,237,355	—	13,237,355
セグメント損失(△)	△254	△82,956	△83,210	—	△83,210

(注) セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	鉄道事業	一般事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,068,331	1,517,861	11,586,192	—	11,586,192
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,068,331	1,517,861	11,586,192	—	11,586,192
セグメント損失(△)	△54,825	△64,661	△119,487	—	△119,487

(注) セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。